take free

ご自由にお持ちください

暮らしは　いつも　たのしい

12class

2016　autumn

リニューアル号

〈特集〉

島キャンプ

12classは「12か月くらす」をキーワードに、リアルな伊豆大島の生活を伝えていきます
どこにいても「ジユウニクラス」そんな願いも込めています

サンセットパームラインからの星空と伊豆半島の夜景。

リニューアルにあたって

フリーペーパー『12class（ジュウニクラス）』は、伊豆大島を支えてきた世代、伊豆大島で生まれ育ちこれからを担う世代、興味を持ち伊豆大島へ訪れる多様な世代、その点と点を取材を通じて繋いでいくことで、新たなコミュニティが生まれることを期待しながら、観光ガイドブックでは伝えることのできないディープな伊豆大島の魅力を伝える媒体を目指したいと考えています。

また現在・過去・未来のあらゆる島の情報を集めながら、伊豆大島に暮らす人や関わりのある人に会ってお話を伺い、それらを編集して伝えたいカタチにしてお届けすることで、取材される人・する人・読む人、三者のコミュニケーションが重なり、さまざまな所で新たなコミュニケーションが生まれていくことも期待しています。

とにかく大好きな伊豆大島のことをもっとみんなに知ってもらいたい！もっと沢山の島の人とお会いしたい！もっと沢山の人に島に来てもらいたい！そんな想いで面白楽しく地道にコツコツ取り組んでまいりたいと思います!!

どうぞフリーペーパー『12class』をよろしくお願いいたします。

（編集部一同 2016年11月）

- 目次 -

特集＿島キャンプ　3
パームライン de ING　6
特別企画＿大島支庁長＋大島町長　7
島の青年　9
マスターおじゃまします　11
大島あるある　12
ミハラヴュー（イベント報告）　13
12class〈伊豆大島〉巻末マップ　14

Photo: 那知 吉幸（大島生まれ、大島在住の35歳。趣味は写真。）

地球のリズムによりそう

島CAMP

島キャンプ

島だからこそ味わえる『島キャンプ』の醍醐味。
伊豆大島にある２つのキャンプ場をご紹介します。

Text,Photo:Chiba

自然豊かな伊豆大島を存分に味わうのなら「キャンプ」がオススメ！

キャンプの魅力はたくさんありますが、真っ先に挙げられるのが『大自然の中に身を置くこと』。自然の美しさや強さ、そして厳しさを直に体感できるところではないでしょうか。

火山島である伊豆大島は、過去に幾度となく繰り返されてきた噴火によって生まれた地形や、黒潮に浮かぶ離島ならではの自然環境など、地球の記憶を感じられる場所が数多く存在します。そんな伊豆大島でのキャンプをひとことで表現するのなら〝地球のリズムによりそうひとときの〟。気の遠くなるような長い年月を経て今この瞬間があります。

大自然に身を委ねること、それは、忙しく動き回る社会生活の中で失われつつある大切な体験です。自然を五感で感じることができるキャンプだからこそ味わえるもの。さぁ、伊豆大島の大自然の中で「キャンプ」してみませんか？

夕暮れをバックにトウシキキャンプ場にて仲間とバーベキュー。

トウシキキャンプ場

美しい日の出と夕日。
そして、海。
キラキラ豊かな
こころ動く場所。

トウシキキャンプ場からの夕日。

トウシキのタイドプール。

島の南部に位置する「トウシキキャンプ場」は、繰り返す噴火による溶岩が長い年月をかけつくりあげた天然のタイドプールが特徴のトウシキ遊泳場の近くにあります。水平線の向こうには、利島や新島などの伊豆諸島の島影を望むことができ、日の出と日の入りの両方を楽しめるダイナミックな場所でもあり、トリップ感も高まります。

もちろん、トイレ・シャワー・炊事場等、基本的な設備が整っているので、テントや食材、アメニティを持ち込めば気軽にキャンプを楽しむことができます。

サンセットパームライン de -ING

Sunset palm line

サンセットパームライン

元町浜の湯 ― 泉浜 ― 赤禿 ― 万立浜 ― 野田浜

元町港から北部の野田浜までを結ぶ海沿いの道。
名前の通り、ヤシの木が迎えてくれる１本道。
素晴らしい夕日はもちろん、さまざまなドラマがここにはあります。
あなたならではの“-ING”を見つけてみてください。

Text:Suguru / Photo:Runo

ドライビング

キレイな空、そびえるヤシ、そして美しい海。それ以上は何もいらない最高の贅沢。大切な人と一緒にＤＲＩＶＩＮＧ!!

コーミング

海を漂流してきたビーチグラス、サンゴ、貝殻などいくつかのドラマを拾う事ができます。手元彩るＣＯＭＢＩＮＧ!!

ウォーキング

元町港から野田浜まで約５キロ。最適なコースが用意されています。自分のペースとコースでＷＡＬＫＩＮＧ!!

ウォッチング

海沿いのパームラインにはたくさんのビューポイントがあります。疲れた心に美しい夕日をＷＡＴＣＨＩＮＧ!!

モーニング

サンセットパームライン沿いにある東屋でのんびり朝ごはん。富士山を眺めながらぶらっとのんびりＭＯＲＮＩＮＧ!!

海のふるさと村

初心者にも安心の充実設備。
そして、
手つかずの大自然。

①海のふるさと村入口に位置する吊り橋
②設備のひとつ、キャンプファイヤーサークル
③島の食材でバーベキュー

集落のない手つかずの自然が残る島の東海岸沿いに位置する「海のふるさと村」。管理棟であるセントラルロッジを中心に、デッキテント、テントサイトが整備されています。他にもプールやキャンプファイヤーサークル、テニスコートなど各種の設備も充実していて、キャンパーのニーズに応じたアクティビティを楽しむことができます。海岸も近いので、海水浴や釣り等の海遊びはもちろん、島ならではの生き物や植物に出会えるのも楽しみの一つです。

キャンプの醍醐味の一つとも言える食事の時間は、島の新鮮な魚介類や野菜を買って豪快にＢＢＱするのがオススメ！

私たち編集部も取材を兼ねて島内のスーパーで購入したトコブシを焼きました。新鮮だからトコブシも元気に踊る！ 釣った魚を調理して食べるのも最高ですね。いつもと一味も二味も違う、ワクワク楽しいおいしいひとときがあなたのキャンプ時間を盛り上げることでしょう。

みんなで自炊♪
楽し、おいしい
ワクワク時間♪

大島のキャンプ場情報♪

トウシキキャンプ場 巻末マップ

東京都大島町差木地
04992-2-1446（大島町観光産業課）
受付時間（8時30分～17時15分）

〔アクセス〕
元町港から車で島の西南へ20分

海のふるさと村 巻末マップ

東京都大島町泉津字原野2-1
04992-4-1137
04992-4-1723
受付時間（8時30分～17時00分）

〔アクセス〕
大島着→大島公園行きバス（終点）
→無料送迎バス（約20分）

特別企画

大島支庁長 吉野 静夫 さん ＋ 大島町長 三辻 利弘 さん

大島を代表する方といえばこのお二人！
大島支庁長の吉野さんと
大島町長の三辻さん。
伊豆諸島全島のサッカーチームが集まる
「アイランドリーグ大会」の会場で
お二人にお会いしてきました。

Text:Remi
Photo:Runo

「アイランドリーグ大会」が開催された大島町陸上競技場にて。

質問回答後に談笑するお二人。

お二人に質問です!!

町長 三辻 利弘 さん

支庁長 吉野 静夫 さん

Q1 大島の好きなところを教えてください

青い空、きらめく海、まばゆい太陽、かがやく緑、満点の星空…。古くから御神火様と尊び崇めてきた三原山。300万本のヤブツバキ、180万本のオオシマザクラ等「伊豆大島ジオパーク」に代表される豊かな自然、新鮮な魚介類、明日葉、くさや等バラエティに富んだ食。大島は、多彩な魅力を持った島であると思います。
情緒豊かでゆったりとした時が流れていて、人情味溢れる島民、素朴な佇まい等、訪れる人を懐かしい温もりで包み込む。私は、この伊豆大島がまるごと好きです。

魅力いっぱいなところ。魅力とは、自然がいっぱい（三原山、海岸、椿などの花、鳥など）、楽しいがいっぱい(ダイビング、クライミング、ジョギング、サイクリング、ドライブなどなんでも楽しい)、おいしいがいっぱい（べっこう寿司、伊勢えび、サザエなどの海の幸、あしたば、くさや)、すごいがいっぱい（三原山噴火口、橋梁や砂防ダムなどの土木構造物、地層切断面、サンセットパームラインの景色)。

Q2 伊豆大島に足りないと思うものは何だとお考えですか？

島という特殊な環境もあるが、自立心に欠ける部分があり、あらゆる面で依存主義が強いと思われます。
財政構造も自主財源が乏しく国・東京都に依存しており、経済構造をみても主力産業である観光業は外部に、建設業は公共事業に依存している構造となっているので。

大島の魅力をしっかりと伝えること。

Q3 休日の過ごし方は？

家庭菜園、読書など。

掃除、洗濯などの家事（単身赴任中なので)。
島内めぐり（好きなスポット:三原山噴火口、筆島)。

Q4 子どものころの夢は何でしたか？

パイロット。

ひとの役に立つことがしたい。(学生時代はボランティアをし、公務員になりました)

Q5 島の若者へのメッセージをお願いします

自分を叱咤激励する意味でも、「志を立てて以って、万事の源と為す」という吉田松陰の言葉を送りたいです。この言葉の意味は、全ての実践は志を立てるところから始まるという事です。理由は、今の時代はなんとなく気力が湧かない人も多いのですが、志が定まらないと気が湧いてこず成果が上がらないからです。

夢をもって欲しい。続ければ夢は必ず現実になる。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました!!

三辻 利弘 さん

1956年生まれ、大島町差木地出身。町長室長、地域整備課長、地域整備課長・土砂災害復興推進室長兼務を経て現職。愛読書は、「翔ぶが如く」。

吉野 静夫 さん

1961年生まれ、関東平野の真ん中、茨城県古河市出身。鉄道好き。平成 28 年４月より東京都大島支庁長。家族は妻と娘２人、猫１匹。

島の青年

島の夏は熱い !!
なんと言っても欠かせないのは、
島内各地区の青年達による盆踊り！
この夏、青年団長の勇姿に会ってきました。

Photo:Runo

島内８地区にはそれぞれカラーが割り当てられていて、例えば町民体育大会の地区対抗等でその色がチームカラーとして使用されます。地域の色分けが生まれた歴史は古く、戦後６ヶ村（泉津、岡田、元村、野増、差木地、波浮）の時代、町民体育祭時にくじ引きで決まったそう。その後、クダッチ、北の山が加わり今もこの伝統は受け継がれています。
それぞれの色の意味については定かな情報は無く、特に意味は無いとの説も。これも大島の面白い文化の一つかもしれません。

マスターおじゃします

前田和雄さん

（前田豆腐店店主）

前田豆腐店の創業は昭和12年。
島で愛され続け、来年で80年を数える老舗です。
金髪がトレードマークの店主・
前田和雄さんにお話をうかがいました。

Text,Photo:Kenji

〈前田豆腐店〉
大島町元町 4-10-2
Tel. 04992-2-1251
オススメは、こだわりの契約栽培大豆 100%で作った豆腐『島豆腐』と『あじゅ』。島内のスーパーにて購入できます。

①店主の前田さん
②大豆をすりつぶす
③型に流し冷やす
④出来立ての豆腐は長年変わらないパッケージ

Q：ずばり、前田豆腐店のセールスポイントは？

前田：とことん手作りにこだわる。うん、品質は絶対に落とさない、ってとこだよね。

Q：豆腐屋さんを続ける原動力となっているものは何でしょう？

前田：自分の知っている一番おいしいものを提供したい。おいしいと言ってくれる人がいる限りは続けたい。利益を追いかけるのではなく人を追いかけるってことかな。

Q：前田さんにとって、「豆腐」とは？

前田：みなさんに豆腐を買ってもらって、それで自分は育ててもらったので、両親の次の親って感じかな。

＊　＊　＊

取材から数日後。我が家の来客への料理に市販のレモン果汁を使おうとした時、前田さんの言葉が浮かんできました。――自分の知っている一番おいしいものを提供したい。やはり私もおいしいものを作る手間を惜しまずにレモンをカットして絞ることにしました。作り手のこだわりとは、それを食べてくれる人への想いなのだと気付かされました。

大島あるある

大島に住んだことがある人なら納得の
面白い「あるあるネタ」を
集めてみました！
ちょっと変わった島民の
常識、あなたはいくつ
共感できますか？？

Text:Natsuna

車の運転中は、
よく知り合いとすれ違うので、
数回は会釈する。
けっこう面倒くさい。

あるある～ぅ！

（※1）為朝さん
源為朝にあやかり、島の女性と結婚して移住してきた本土出身の男性の事。

20時すぎは
深夜のような静けさ。

あるある～ぅ！

島のおじちゃんやおばちゃんに、
「ニシ（あなた）は島の人？」と尋ねられ、
「いいえ、妻が島の出身です」と答えると
『為朝さん（※1）だぁ！』
と言われる。

あるある～ぅ！

島内アナウンスが
かなり**重要な情報源**だ。

あるある～ぅ！

玄関を開けっ放しにしていると、
たまに近所のおばちゃんからの
おすそ分けが置いてある。
食べきれない事もよくある。

あるある～ぅ！

船は満席。
なのに、島に着くとなぜか
島内はガランとしている。

あるある～ぅ！

ワンボックスの軽自動車が多く、
「ケッパコ」と呼ばれる。
軽トラックは「ケットラ」。
基本的に車の鍵はかけない。

あるある～ぅ！

挨拶をしていないのに、
突然会話を始める島人。
「あ、今日、欠航だってな」

あるある～ぅ！

あるある～ぅ！

男性の
タオル着用率が
高めである。
巻き方も
さまざま！

あるある～ぅ！

プールが海水 しょっぱい～

伊豆大島 12class 巻末マップ

今号の 12class で紹介したお店や地名等を地図上でご紹介します。

終了報告 今年の『NATSUZEMI（夏ゼミ）』

2016.9.3（土） 岡田港界隈にて

建築系学生からなる NATSUZEMI によるワークショップイベントが、岡田港界隈に建つ古民家と岡田八幡神社境内にて9月3日（土）に開催されました。
会場では岡田の過去の風景を写した写真を展示するギャラリーやつばきッチンによるフードブース、そして廃材を使ってアクセサリー等をつくるものづくりワークショップが実施されました。
NATSUZEMI は日本大学岩田研究室の学生が中心となって運営する建築学生団体。2010 年に日本大学をはじめとする 4 大学でスタート。2012 年からは場所を伊豆大島に移して島の人々との絆を深めながらものづくりを通した地域貢献に取り組んできました。今後は会場となった古民家を“まちやど”にする改修案をベースに改修作業に入る予定です。それには法規制をはじめとした様々なハードルを乗り越えなくてはならないようですが、引き続き、継続プロジェクトとして後輩たちに引き継いでいくとともに、今年の代表の日野さんや今や社会に出て様々な分野で活躍されている OB・OG のみなさんの中にも何らかの形で関わっていきたいと考えている方がいるそうです。
今年の代表の日野さんは、理想は古民家のリノベーションを起点に、岡田港界隈のまちづくりにつなげられたらと考えており、島の皆さんと NATSUZEMI の学生、そして OB や OG と一緒に考えながら取り組んで行きたいと話してくれました。

終了報告 kichi × PR BAR presents Cross Island Cocktails in 伊豆大島

2016.7.30（土） kichi にて

北青山の外苑西通り沿いの地下に、伊勢谷友介氏が代表を務めるクリエイターやアーティストの集団“リバースプロジェクト”と某アパレル会社社長が、皆が集うための場所としてひっそりつくった『PR BAR』。
2016 年の夏、kichi にて『PR BAR』による一夜限りの伊豆大島出張イベントが開催されました。
イベントでは『PR BAR』による島の食材（果物・野菜・ハーブ）を使ったオリジナルカクテルをはじめ、ナツキチによる美味しいフードやシンガーソングライターの吉廣麻子さんによるスペシャルライブ、そして書道家の田中象雨さんによるライブ書道など、素敵な空間を皆で共有した美味しくて楽しいひととき。また来年、さらにパワーアップしたPR BAR出張イベントに期待しましょう。

いわて蔵ビール × リバースプロジェクトのオーガニック IPA「ヨイツギ」ビールも用意され、来場者に提供されました。

終了報告 『二十代の夏』kichi にて、伊豆大島先行上映会開催

2016.10.22（土） kichi にて

全編伊豆大島にてロケが行われた映画『恋はフェリーに乗って』は、再編集を経てタイトルも新たに『二十代の夏』となって完成しました。
一度は完成しつつ、まだまだ編集で良くなる余地があると、さまざまな葛藤の中、作品と向き合い、編集を繰り返してきた高野徹監督。この度、自身も納得の作品となりました。
そこで、本作の撮影場所としても登場する kichi にてお披露目の上映会が行われ、上映後には高野監督他のトークショーも開催されました。
今後の上映会予定は右記の通りになります。是非、ご覧ください！

◉お問合せ：filmoshima@yahoo.co.jp
◉公式 WEB サイト：http://summer20s.tumblr.com/

男女３人の夏の物語。

《上映会開催予定》
◉神戸 2016/11/05（土）神戸映画資料館
15:00 - 16:30 JST http://ptix.co/2dRnA0K
◉横浜 2016/11/27（日）横浜にぎわい座
17:00 - 18:30 JST http://ptix.co/2e3qope

Kichi http://kichi.to-on.info/
三原色［ミハライロ］ http://miharairo.to-on.info/
Facebook
http://www.facebook.com/kichi.oshima

表紙のウラばなし

『御神火マッチ』お土産にいかが？

元町にある「くぼいち商店」さん（巻末マップ内参照）で見つけたなんとも可愛らしくてレトロで味わい深～いマッチ。その名も『御神火マッチ』。伊豆大島をこよなく愛す、京都在住の滝町昌寛氏が制作したものです。伊豆大島の風俗や動植物など、伊豆大島に関わりのあるモノが独特のタッチで描かれています。また本人の性格とも相まって自由奔放に描いている様子が見る人に痛快な印象を与えてくれます。

どこか懐かしくお値段もお手ごろ、お土産にも最適の一品！コレクター心をくすぐる逸品にもなるのではないでしょうか。是非「くぼいち商店」さんにてお手にとってみてください。

私たちと一緒に活動しませんか？

・イベントの時だけお手伝いしたい
・12class の取材をしてみたい
　など何でも歓迎です！！

NPO 法人kichiでは、東京アートポイント計画の一環として三原色〔ミハライロ〕を展開しています。三原色〔ミハライロ〕では、私たちの活動に賛同し一緒に動いてくれる仲間を募集しています。島の魅力の再発見、新たな価値の発見、その価値を発信する活動を続けます。是非、下記アドレスまでご連絡ください！！

mail@to-on.info　お待ちしてます！！

三原色〔ミハライロ〕とは

伊豆大島を支えてきた世代、伊豆大島で生まれ育ちこれからを担う世代、興味を持ち伊豆大島へ訪れる多様な世代... その点と点が多様であればあるほど予想しない化学反応が起こる。多種多様な点と点を『デザイン』や『アート』を使ってつないでいくことで、新たな価値を生み出し、活気溢れる地域づくりを目指す活動をします。
http://miharairo.to-on.info/

東京アートポイント計画とは

東京アートポイント計画は、地域・市民が参画するアートプロジェクトを通じて東京の多様な魅了を創造・発信することを目指して東京都とアーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）が展開している事業です。
https://www.artscouncil-tokyo.jp

編集後記　サイズ・ページ数と大幅に拡大しリニューアルした『12class』23号でしたが、いかがでしたか？リニューアルと同時に編集部員も増員しました。自分達がいいと考える大島を伝えたい。まだまだ奥の深い大島を知ってほしい。と皆、思いはひとつ。しかし、現実は思うように進まず…。試行錯誤しながらの結果、今までに無い視点が取り入れられ、おもしろい内容で完成させることができたと思います。まだまだ成長中の『12class』ですが、次号もどうぞよろしくお願いいたします。

12class の web はこちら↓
http://12class.to-on.info/

web だけで読める情報あります！！
是非ご覧ください◎

12class 2016 秋号（第 23 号）　2016.11.1 発行

編集・制作：NPO 法人 kichi（東京都大島町元町 1-9-4 高田土産店 2F）
ライター＿杉山賢治・竹内英・千葉努・平野夏奈／撮影＿千葉努・津崎流野
編集＿千葉努・千葉れみ／制作＿千葉れみ（トウオンデザイン）／協力＿磯山晴広・古屋博史
発行：アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
主催：東京都／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／ NPO 法人 kichi

◎本誌からの写真、文、イラストの無断転載を固く禁じます。

ARTS COUNCIL TOKYO　ミハライロ